

特別の教科 道徳 学習指導案（国際理解）

日 時 令和元年10月30日

場 所 音更町立共栄中学校

生 徒 3年A組 34名

指導者 教諭 田口 健人

1 主題名 「その子の世界、私の世界」C（18）〔国際理解・国際貢献〕

2 主題について

国際化が一層進展している社会においては、各国の関係や異文化を単に理解するだけでなく、自らが国際社会の一員としてどのように生きていくかという主体性を強く意識することが重要である。中でも国際社会の問題は、単純に「よい」か「悪い」かで割り切れないことが多い。まずは社会問題に関心をもつこと、そして人類の幸福のために何が大切なのか、多面的・多角的に考えることが必要である。国際理解や国際貢献は重要な課題であり、これらに対応できる人になるためには、他国の人々や文化に対する理解と尊重の態度を養うことが求められる。

しかし、子どもたちは平和で安全な日常生活を送ることが多く、普段から地球上の他の国の人々や文化へと気持ちが向いているとは言いがたい。世界の現状を知る中で、それぞれが抱えている問題、例えば環境や自然、食料や健康など、どれも一地域や一国内にとどまることではないことを踏まえ、世界の中の日本人としての自覚をもつことも重要である。本単元では「貧困問題」に焦点をあてて、話し合いながら考え、深める機会としたい。中学3年生ともなれば世界の出来事について理解もでき、関心も高まってくる。各教科や総合的な学習等で学んできたことをもとに、総合的に課題に取り組むようにしたい。

3 国際理解 BASIC

○BASIC-1（地理的項目－知識・理解）

水を取り巻く世界の現状を調べる（開発途上国の水事情）。

○BASIC-2（文化・言語的項目－体験・経験）

開発途上国と自分たちの住む地域を比較し考える。

○BASIC-3（情報発信・行動的項目－表現・意識）

国際問題と自分の世界を比較することを通して、自分たちの出来ることについて考える。

4 主題の目標

○世界の子どもたちを取り巻く現実について考えることを通して国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を深める。

5 国際理解の目標

- 地球上の水の事実を知り、世界とのつながりを感じる。〈世界に触れる (intake 活動)〉
- 世界の子どもたちを取り巻く現実について考える。〈対話・ディスカッション (output 活動)〉
- 国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする。〈創造力 (outcome 活動)〉

6 指導計画

教科：総合的な学習の時間（4 h） 【学習内容】 世界の水事情について調べレポート作成 世界と自分の住む地域を比べる	教科：理科 人間と環境 【学習内容】 人間と自然環境の関わりを考える	
学習段階	授業内容	評価の手立てと観点
第1次 （1時間） 教科書 P144	世界で起こっている問題を挙げる。 教科書に載っている4枚の写真を見て考える。 同じ写真を選んだ人たちで話し合う。 世界の子どもたちの現実を知って考えたことなどを書く。	中心発問におけるグループの話し合いの様子 （ワークシートなどの記述）
第2次 （1時間）本時		

7 本時の目標

- 国際問題（水問題）と自分の世界を比較することを通して、自分の行動や考え方を見直し、自分のできることについて考える。

〈世界に触れる (intake 活動) 対話・ディスカッション (output 活動) 創造力 (outcome 活動)〉

8 本時の展開

時間	授業の展開	□評価の手立て◆留意点
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 第1ステップ<intake 活動> ・総合の時間で調べた水問題について触れる ・調べたことを全体で交流 </div> ・日本では1人あたり1日に使う水の量はどの位だと思いますか？ ・世界で最も水にアクセスできない地域の人々は1日にどの位水を使っているのでしょうか？ ・「貧困」・・・水さえも飲めない、下水（トイレ）も汚い国（国際問題）が現実としてある	◆約 300ℓ 入浴 1 回約 100ℓ 5 分間出し続ける約 60ℓ 全自動洗濯機 1 回約 110ℓ 平均 2.7ℓ

<p>展開</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>第2ステップ<output 活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ国際問題として貧困があるのか原因を考える </div> <ul style="list-style-type: none"> ・配られた「貧困カード」をグループで読む。 ・模造紙の上部中央に「貧困」と書かれたカードを置き、そのカードを出発点に残りの8枚のカードがどのような順番でつながっていくのか因果関係を考えながら円状に並べる。 ・できあがったら、模造紙に貼る。 <p>※グループごとに並べる順番が異なってもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪循環について話し合い、発表する。 <p>※グループの代表者が出来上がった「貧困の輪」を見せながら発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がその悪循環の中にいるとしたら、自分ひとりの力でその悪循環から抜け出せるか考える 	<ul style="list-style-type: none"> □グループの話し合いの様子 (ワークシートなどの記述) <p>◆原因(状況)がつながり、悪循環になっていることに気づく</p> <ul style="list-style-type: none"> □グループの話し合いの様子 (ワークシートなどの記述) <p>*グループで話し合い 活発な活動になるよう工夫</p>
<p>まとめ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>第3ステップ<outcome 活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「その子の世界、私の世界」を振り返って考える </div> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったことや学んだことをワークシートに記入する 	<ul style="list-style-type: none"> □国際問題と自分の世界を比較することを通して、自分の行動や考え方を見直し、自分のできることについて考えているか。